

## 第2章 26年度実施状況

《基本方針1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(1) 再生可能エネルギーの利用を進めます》

### 【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			26年度	28年度	33年度		
1	住宅用太陽光発電システム設置件数 (出力合計)	件 (kW)	10,193 (41,911)	15,000 (60,000)	25,000 (100,000)	68%	再生可能エネルギー推進課

### 【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(1) 再生可能エネルギーの利用を進めます	太陽光発電導入促進事業（メガソーラー発電所計画）	温室効果ガスを排出しないクリーンな太陽光発電システムを、市が率先して公共施設に計画的に設置し、再生可能エネルギーの導入を図る。	①本庁西別館 (30kW) ②北部親子つどいの広場 (20kW) ③城西福祉館 (20kW) ④都市農村交流センターお茶の里 (40kW) ⑤谷山北分遣隊 (10kW) ⑥市立病院 (20kW) ⑦錫山小・中学校 (10kW) ⑧谷山サザンホール (38.72kW) ※ ⑨喜入地区保健センター (41.04kW) ※ ⑩宮川小学校 (49kW) ※ ⑪西陵中学校 (15kW) ※  ※は「市有施設屋根貸し太陽光発電事業」で設置	各再生可能エネルギー推進課
	太陽光発電導入促進事業	太陽光発電システムを設置する市民等に対して補助を行う。	[補助単価] 28,000円/kW [補助上限金額] ・個人住宅：84,000円 ・共同住宅：280,000円 [補助件数] ・個人住宅：940件 ・共同住宅：0件	再生可能エネルギー推進課
	【拡】再生可能エネルギー導入促進事業	再生可能エネルギーの導入促進を図るため、産学官連携による調査・研究を行う。	○25年度の研究会からの提言を踏まえ、本市が取り組む方向性や具体的項目を掲げる「再生可能エネルギー導入促進行動計画」の策定に向けた検討を進めていたが、固定価格買取制度の見直し等を踏まえた検討が必要となったことから、策定作業を一時休止し、27年度に研究会を引き続き設置し、その意見も踏まえた上で策定することとした。  ○公共施設への風力発電設備のモデル的導入に向け、可能性調査を行った。	再生可能エネルギー推進課

《基本方針 1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(1) 再生可能エネルギーの利用を進めます》

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
<p>(1) 再生可能エネルギーの利用を進めます</p>	<p>【拡】バイオガス施設整備事業 ※H27～【新】南部清掃工場ごみ焼却施設・バイオガス施設整備事業</p>	<p>循環型社会及び低炭素社会を構築するため、生ごみ等を活用してバイオガスを発生させる施設を整備する。</p>	<p>バイオガス施設整備に向け、処理対象物の効率的・安定的な確保の検討などを行うとともに、経年的な老朽化が進んでいる南部清掃工場と併せて一体整備するため、新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備基本計画を策定した。</p>	<p>南部清掃工場</p>
	<p>中小企業資金融資事業（環境配慮促進資金）</p>	<p>新エネルギー設備の導入やISO14001認定取得等に資金を利用する場合、融資の際の信用保証料の一部を助成する。</p>	<p>〔融資実績〕 7件 〔融資額〕 47,919千円 〔保証料補助〕 1,659,989千円</p>	<p>産業支援課</p>

《基本方針1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(2) 省エネルギー技術の利用を進めます》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値			目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			26年度	28年度	33年度	28年度	33年度		
2	環境対応車のうちの 次世代自動車の普及率	%	29	25	35		達成	再生可能エネ ルギー推進課	

※ 次世代自動車 = 電気、ハイブリッド、プラグインハイブリッド、燃料電池、  
クリーンディーゼル、天然ガス  
環境対応車 = 次世代自動車 + 低燃費・低排出ガス認定車

※ 自動車販売会社の鹿児島市域内店舗における新車販売台数調査結果による

【施策の実施状況】

基本 目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(2) 省エネ ルギー 技術の 利用を 進めます	環境対応車導入促進	「鹿児島市地球温暖化対策アクションプラン」における「鹿児島市環境対応車導入指針」に基づき、本市公用車及び市営バスを可能な限り環境対応車に計画的に切り替えるとともに、民間への普及を促進する。	○次世代自動車の導入 〔公用車〕 ・電気自動車：1台 ・天然ガス自動車：2台 ・クリーンディーゼル自動車：5台 ・ハイブリッド自動車：2台 〔市営バス〕 ・クリーンディーゼル自動車：11台  ○民間への普及促進 普及啓発リーフレットを2,500部作成し、公共施設や自動車ディーラー等へ配布を行った。	導再生 入可能 課エネ ルギー 推進課
	環境対応車普及促進 対策補助事業	天然ガストラック、ハイブリッドトラックを導入する事業者に対して、補助金を交付する。	〔補助額〕10万円/台 〔補助台数〕2台	推工再 進ネ生 課ル可 能 ー
	環境対応車に係る駐 車場の使用料減免措 置	市公共施設駐車場の使用料の減免を行う。	〔対象駐車場〕 ・市民文化ホール ・平川動物公園 ・鴨池海づり公園 〔減免額〕無料 〔対象車種〕 ・天然ガス自動車 ・ハイブリッド自動車 ・プラグインハイブリッド自動車 ・電気自動車 〔利用台数〕851台（延べ台数）	再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 推 進 課
	【拡】電気自動車普 及促進事業	電気自動車の購入に対して補助を行うことにより、電気自動車の普及を促進し、温室効果ガス排出量の削減を図る。	〔補助額〕15万円/台 〔補助台数〕59台	

《基本方針1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(2) 省エネルギー技術の利用を進めます》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(2) 省エネルギー技術の利用を進めます	電気自動車急速充電設備の管理運営	電気自動車の普及促進を図るため、かごしま環境未来館に設置の電気自動車急速充電設備を管理運営する。 (市民等への共用)	電気自動車の普及状況や、環境未来館での利用状況を踏まえるとともに、民間の設置状況を注視しながら、対応を検討した。  〔累計利用件数〕582件(310台) 〔1日平均〕1.9件	ギ再 生 推 進 能 力 課 エ ネ ル
	【新】環境管理事業所サポート事業	エネルギー使用量(電気)の削減に取り組んでいる環境管理事業所に対して環境の専門家を派遣して専門的な助言を行うとともに、LED等の環境配慮設備の設置費用の一部を補助する。	環境カウンセラー、エネルギー管理士等を派遣し、環境活動に対する助言等を行うほか、LED等の環境配慮設備設置費用に対する補助を行った。  〔専門家派遣〕3件 〔環境配慮設備設置補助〕10件	環 境 保 全 課
	防犯灯補助事業	防犯灯を維持管理している町内会等が防犯灯を設置した場合、その経費の一部を助成する。	防犯灯補助事業に、明るい照明補助加算(6,000円)を設け、LED・インバーター式防犯灯の設置を促進した。  〔補助灯数〕 ・LED:12,160灯 ・インバーター式:194灯	安 心 安 全 課
	明るい商店街づくり支援事業	街路灯等を維持管理している商店街で、リース契約によりLED等の省エネ電球を導入した商店街について、その経費の一部を助成する。	〔補助率〕1/2 〔補助限度額(総額)〕100万円 〔補助団体数〕3団体	産 業 支 援 課
	共同施設設置事業助成金	商店街などが市民の利便を図るための街路灯(LED電球等へ交換する省エネ化含む)などを設置した場合に助成する。	○街路灯・アーケードのLED化  〔補助上限額〕100万円 〔国補助なし〕50/100 〔国補助あり〕20/100 〔補助団体数〕6団体	産 業 支 援 課
	公共建築物省エネルギー推進事業	地球温暖化対策として、公共建築物における低炭素化を図るため、「公共建築物環境対策調査研究事業」の成果を活用し、省エネルギー運転支援及び環境対策技術導入に取り組む。	○省エネルギー25%(22年度比)を目指す取組では、真砂福祉館など8施設において、設備機器等の運転支援を行うとともに、環境対策技術導入検討(シミュレーション)を行い、運転支援では、平均約22%の電気使用量を削減した。  ○省エネルギー50%(22年度比)を目指す取組では、吉野公民館で環境対策技術導入検討(シミュレーション)を行った。	設 備 課

《基本方針1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(2) 省エネルギー技術の利用を進めます》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(2) 省エネルギー技術の利用を進めます	保健・急病センターのLED化	保健・急病センター内にある白熱球を全てLEDに取り換える。	電球型蛍光灯の更新がなかったため、LEDへの取り換え実績はなかった。	試験保健所環境
	地区保健センターのLED化	地区保健センター内の照明器具の更新時期や保全計画の空調改修に併せ、LED化工事を行う。	吉田地区保健センターで、空調機改修とLED化工事を行った。	保健総務課
	市営住宅ストック総合改善事業	「鹿児島市営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的で効率的な修繕等の維持保全を行うとともに、住宅毎に全面的改善及び個別改善等に区分し、計画的に実施することで、建物の長寿命化・事業量の平準化を図り、ライフサイクルコストの縮減に取り組んでいる。	○長寿命化のための全面的改善、個別改善の実施  〔完成ベース〕 ・全面的改善 ：武岡住宅(第二)30戸	住宅課
	公共建築物ストックマネジメント事業	市有の既存公共建築物について、中長期的な視点に立った保全計画を作成し、計画的で効率的な維持保全を行う。	○ストックマネジメントの推進 〔保全計画の作成等〕 ・保全計画作成：88棟 ・計画に基づく改修：64棟 〔建築・設備資材のリユース〕CO <sub>2</sub> 削減やコスト縮減 ・空調機の再利用：6台 〔インハウスエスコの取組〕 ・低圧電力需給契約見直し提案:17件 ・水道メーター口径見直し提案:12件 ・TVプースター待機電力縮減実施:20件  ○公共建築物への環境対策の推進 〔他の環境対策事業等との連携〕 設備課、再生可能エネルギー推進課の省エネ関連事業へ改修計画等の情報提供。	建築課
	学校施設建築物ストックマネジメント事業	既存の学校施設建築物について、中長期の保全計画を策定し、計画的に効率的な維持補修を行い、施設の長寿命化を図る。	ストックマネジメントの対象となる学校施設における保全計画の全体調整を図った。	施設課
	橋りょう長寿命化事業	橋りょうの長寿命化及び修繕、架け替えに係る費用縮減のため、「長寿命化修繕計画」に基づく、橋りょうの予防的・計画的な修繕を行う。	計画に基づいた、橋りょうの適切な維持管理を行った。  〔修繕橋りょう数〕 田上橋 ほか7橋	谷道山路建維持課

《基本方針1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(2) 省エネルギー技術の利用を進めます》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(2) 省エネルギー技術の利用を進めます	省エネルギー設備等の導入推進	高効率型の設備など省エネルギー機器を積極的に導入し、環境負荷や維持管理費の低減を図る。	○五ヶ別府水源地送水ポンプの高効率型への更新等 ○南部処理場の脱水機設備の更新等	下配水道 水道管整備 建設課
	ストックマネジメントシステム導入事業	上下水道施設の状態を客観的に把握、評価し、中長期的な予測を基に計画的かつ効率的に施設を管理する手法として、ストックマネジメントシステムを導入する。	○25年度に策定した基本計画等に基づき、システム構築に向けた情報収集を行った。 ○経営面と費用対効果、他局の状況を踏まえ、国の動向を見ながら対応を図った。	水道局 関係課
	低公害・低床型車両導入事業	老朽化した車両について、高齢者をはじめ全ての利用者にやさしく、環境にもやさしい、低公害低床型車両への更新を進め、バス利用者の利便性の向上と環境負荷の軽減を図る。	○低公害低床型バス（大型10両）を導入	バス 事業課
	観光バス購入事業	現在運行している車両は、購入後20年以上経過し老朽化が激しいため、観光客など利用者の快適性を向上させるためにも車両の更新が必要である。 また、環境性能の優れた車両に更新するため、本市の環境配慮に寄与でき、観光都市鹿児島イメージアップにもつながる。	○低公害バス（大型観光バス）1両を導入	バス 事業課
	新船建造事業	平成2年に竣工した第五櫻島丸について、代替船を建造する。 建造にあたっては、環境にやさしい新船を建造することとし、サクラエンジェルの運航実績を踏まえ、電気推進船とする。	○建造工事、竣工	船舶 運航課

《基本方針 1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(3) エコスタイルを実践します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			23年度	28年度	33年度		
3	民生家庭部門の温室効果ガス排出量削減率（平成2年度比）	%	79.9%増	10%増	1%増	未達成	環境政策課
4	民生業務部門の温室効果ガス排出量削減率（平成2年度比）	%	77.1%増	12%増	7%増	未達成	環境政策課
5	産業部門の温室効果ガス排出量削減率（平成2年度比）	%	24.3%減	43%減	47%減	未達成	環境政策課

No.	項目	単位	現況値	目標値		平成28年度 目標値に対する 達成状況	関係課
			26年度	28年度	33年度		
6	環境管理事業所の認定事業所数	事業所	485	1,000	1,500	48.5%	環境保全課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(3) エコスタイルを実践します	「わたしたちの暮らし」配布	基礎的な消費生活の知識を身につけるため、小学校における消費者教育の学習資料を作成・配布する。	環境にやさしい暮らしなどを分かりやすく紹介した小学5、6年生向け学習資料「わたしたちの暮らし」を作成し、市内の小学校に配布した。  〔配布数〕 6,594冊	セ ン タ ー 生 活
	学校版環境ISO認定事業	学校版環境ISO認定制度に基づき、認定を受けた市立の全小・中学校117校において引き続き環境にやさしい学校づくりへの取組が継続するよう、定期的に審査するとともに、情報提供等により取組を支援する。（更新審査は3年ごと、継続審査は毎年）	学校版環境ISO認定制度に基づき、認定を受けた全小・中学校において審査を行う。特に、26年度認定が切れる38校は、学校を訪問して更新審査を行った。また、パンフレットやホームページによる情報提供等により取組を支援した。 なお、国立私立の小中学校へも認定申請を勧め、国立の小学校1校について新たに認定を行った。	環 境 保 全 課
	学校版環境ISO認定の支援	学校版環境ISO認定制度に基づき、認定を受けた市立の全小・中学校117校において引き続き環境にやさしい学校づくりへの取組が継続するよう、環境保全課と連携を取りながら指導を行う。	環境保全課と連携を取り、更新審査等に向け継続的な取組を行うよう、対象となる38校に指導を行った。	学 校 教 育 課

《基本方針1 地球市民として温暖化対策に取り組むまち（低炭素社会の構築）》

《基本目標(3) エコスタイルを実践します》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	26年度実績	関係課
(3) エコスタイルを実践します	学習資料「ストッピーとさくりんのごみ・まち美化教室」	小学4年生の社会科の学習資料として作成し、授業で活用してもらい、環境問題に対する意識養成を図る。	小学4年生向け学習資料「ストッピーとさくりんのごみ・まち美化教室」を作成し、市内の小学校に配布した。 〔作成・配布数〕6,800部	環境サ衛イ生クル推進課
	かんきょう家計簿	家庭での電気や水道、ガソリンの使用量や、日常の行動などを記入することで、1人ひとりに環境にやさしい暮らしを実践してもらう。	本庁・各支所・環境未来館等で配布するほか、環境フェスタや消費生活エキスポ鹿児島などのイベントや出前トークの際に配布した。 〔作成数〕2,000部	環境政策課
	「うちエコ診断」の実施（環境協働・連携促進事業） ※H27～かごしま環境未来館管理運営事業に統合	各家庭のライフスタイルに合わせて、二酸化炭素排出量の削減や省エネ対策を提案する「うちエコ診断」を実施し、地球温暖化防止等に対する意識の向上及びエコライフの定着を図る。	家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報を基に、専用ソフトを用いて「うちエコ診断」を行い、各家庭のライフスタイルに合わせたCO2削減対策の提案を行った。 〔診断件数〕56件	環境政策課
	エコワットの貸し出し	エコワット（簡易型電力量表示器）を貸出し家庭で利用してもらうことにより、省エネ・節電への関心を高め、取組を促進する。	市ホームページ、かんきょう家計簿で貸出の広報を行うとともに、出前トークの際に貸し出しを行った。	環境政策課
	環境管理事業所認定事業	鹿児島市環境保全条例に基づいて適正に環境管理を行い、環境への負荷の少ない事業活動を自主的に行っている事業所を「環境管理事業所」として認定する。	鹿児島市環境保全条例に基づき、環境管理の普及啓発を図り、認定事業所数の認定増に努めた。	環境保全課
	各学校における環境学習・環境美化活動・リサイクル活動等の実施	各学校において環境学習・環境美化活動・リサイクル活動等を実施する。	環境教育全体計画の作成を指導するとともに、総合的な学習の時間における環境学習やごみ分別、省エネ等の取組を実施するよう指導した。 （全小・中学校において、環境教育全体計画を作成済み）	学校教育課